

問1 鎌倉時代中期以降、それまで一般的であった領地の分割相続が御家人の生活を苦しめる要因となった背景について、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 鹿児島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 幕府がすべての領地を回収し、長男以外の子供には領地を与えない単独相続を強制したため | 2. 元寇の恩賞として大量の領地が配分された結果、管理コストが膨らみ生活が破綻したため | 3. 代を重ねるごとに一人あたりの領地が細分化され、軍役の負担に見合う収入が得られなくなったため | 4. 貨幣経済が浸透し、領地から得られる農作物の価値が急落して分割相続が不可能になったため |
|--|---|--|---|

問2 東大寺に関わる歴史について述べた次の文のうち、鎌倉時代の文化の特色を反映した説明として最も適切なものはどれですか。 (2024年

熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------------------------------|--------------------------------|---------------------------|---------------------------------|
| 1. 足利義満が、中国（明）との貿易を独占し、新しい文化を形成した。 | 2. 鑑真が、仏教の規律を正しく伝えるために唐から来日した。 | 3. 白河上皇が、政治の実権を握り院政を開始した。 | 4. 運慶らが、力強く写実的な彫刻である金剛力士像を制作した。 |
|------------------------------------|--------------------------------|---------------------------|---------------------------------|

問3 平氏を滅ぼした後の源義経の生涯について、その背景と経緯を説明した文として正しいものはどれですか。 (2018年 愛知県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 兄の源頼朝と対立し、東北地方の奥州藤原氏のもとへ逃れたが、最終的に自害に追い込まれた。 | 2. 戦後に後白河法皇と協力して、鎌倉に代わる新しい幕府を近畿地方に樹立した。 | 3. 武士の時代の到来を予見し、山口県の下関付近に独自の独立政権を樹立して平氏の遺志を継いだ。 | 4. 平氏を滅ぼした功績が認められ、近畿地方を治める初代の執権として幕府の政治を主導した。 |
|--|---|---|---|

問4 鎌倉時代、将軍と御家人は「土地」を仲立ちとした主従関係で結ばれていました。将軍が御家人の所領を保証したり新たな土地を与えたりする「御恩」に対し、御家人が将軍に対して果たす義務を何といいますか。 (2017年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|--------|-------|-------|
| 1. 下地中分 | 2. 守護請 | 3. 奉公 | 4. 寄進 |
|---------|--------|-------|-------|

問5 鎌倉時代に全国に配置された「守護」と「地頭」の役割や設置場所の違いについて、正しい説明はどれですか。 (2017年 愛媛県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 守護は荘園領主として現地の経済を支配し、地頭は国司の下で地方行政の実務や朝廷への報告を担当した。 | 2. 守護は幕府の最高職として政治全般を補佐し、地頭は幕府が直轄する都市の治安維持とキリスト教の取り締まりを行った。 | 3. 守護は東日本の警備のために臨時に任命され、地頭は西日本の有力武士を監視するために京都の六波羅に常駐した。 | 4. 守護は国ごとに置かれて主に軍事や警察の任務を担い、地頭は荘園や公領ごとに置かれて年貢の徴収や土地の管理を担った。 |
|---|--|---|---|

問6 鎌倉時代において、将軍と御家人は「土地」を仲立ちとした強い結びつきを持っていました。将軍が御家人の先祖伝来の所領を保証したり、戦功に応じて新たな領地を与えたりする一方で、御家人が軍役や警備の任務を果たすことで成り立つ、この主従関係の基盤となった仕組みを何といいますか。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|-----------|----------|----------|
| 1. 惣領制 | 2. 寄進地系荘園 | 3. 御恩と奉公 | 4. 公事と夫役 |
|--------|-----------|----------|----------|

問7 鎌倉時代、御家人の領地が一つの大きなまとまりから、長男、二男、長女、三男といった複数の子供たちへ細かく分けられて継承される状況がありました。このような相続の仕組みを何と呼びますか。 (2017年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|---------|---------|---------|
| 1. 永仁の徳政令 | 2. 惣領相続 | 3. 単独相続 | 4. 分割相続 |
|-----------|---------|---------|---------|

問8 ある法令には「領地の質入れや売買は御家人の生活が苦しくなる原因なので禁止する」「御家人以外の者が御家人から買った土地は、元の持ち主に無償で返さなければならない」といった内容が記されている。この法令が出されたことによる結果として、最も適切な事態はどれか。 (2022年 青森県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 御家人の借金がすべてなくなり、幕府への信頼が高まって支配体制が安定した。 | 2. 金貸し業者がお金を貸さなくなり、御家人はかえって資金繰りに苦しむようになった。 | 3. 御家人による土地の売買が自由化され、貨幣経済が急速に発展した。 | 4. 荘園領主と地頭の争いが解決し、下地中分による土地の分割が進んだ。 |
|---|--|------------------------------------|-------------------------------------|

問9 13世紀後半、モンゴル帝国の第5代皇帝に即位し、都を大都（現在の北京）に移して、中国風の「元」という国号を定めた人物は誰か。 (2024年

大阪府公立入試 類似)

- | | | | |
|------------|------------|------------|---------|
| 1. フビライ=ハン | 2. チンギス=ハン | 3. マルコ=ポーロ | 4. 北条時宗 |
|------------|------------|------------|---------|

問10 東大寺南大門の金剛力士像を制作した運慶や快慶らが活躍した時代は、彫刻においても「写実的で力強い」表現が好まれました。このような文化が生まれた背景や特徴について説明したものとして、最も適切なものを選択してください。 (2021年 神奈川県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--------------------------------------|--------------------------------------|---|
| 1. 武士が政治の実権を握り、彼らの力強さや素朴さを好む風気が反映されたため | 2. 江戸の町人による経済発展を背景に、華やかで豪華な装飾が好まれたため | 3. 国風文化の影響が強まり、貴族の好む繊細で優美な様式が完成されたため | 4. 遣唐使によってもたらされた唐の進んだ技術が、国際色豊かな表現を生んだため |
|--|--------------------------------------|--------------------------------------|---|

問11 鎌倉幕府の統治の仕組みにおいて、幕府の最高権力者である将軍の下に置かれた「執権」という役職の説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2021年 秋田県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|------------------------------------|------------------------------------|--|
| 1. 足利氏が幕府を開く際に、将軍を補佐するために新設した管領の前身となる役職 | 2. 京都の朝廷を監視するために設置され、西国の御家人を統制した役職 | 3. 源氏の血筋を引く者のみが就任し、軍事指揮権を専門に行使した役職 | 4. 北条氏が代々受け継ぎ、将軍に代わって幕府の政治を主導した実務上の最高責任者 |
|---|------------------------------------|------------------------------------|--|

問12 鎌倉時代において、地頭が荘園領主（公家や寺社）に対して実質的な支配権を強めていくことができた背景として、地頭に認められていた権利や制度の説明として正しいものはどれですか。 (2024年 山口県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 土地の管理や警察権の行使に加え、軍費として兵糧米を徴収する権利が与えられていたため。 | 2. 地頭は定期的に土地の所有者を入れ替える「班田収授法」を運用する責任者であったため。 | 3. 地頭には、農民から直接税を徴収するのではなく、中国から輸入した銅銭での納税を義務付ける権限があったため。 | 4. 地頭は朝廷から直接任命される役職であり、幕府の支配を受けずに独自の裁判権を持っていたため。 |
|---|--|---|--|

問13 源頼朝が朝廷から「征夷大將軍」に任命されたことの政治的な意義について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年

静岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 武家政権の長として、全国の武士を統率し、軍事・警察権を行使する正統性を認められた。 | 2. 朝廷を廃止し、鎌倉に新しく天皇を移して、独自の律令制度を全国に広める権限を得た。 | 3. 天皇に代わって政治のすべてを行う摂政や関白となり、貴族を中心とした政治を継続した。 | 4. 平氏と同じように、天皇の外戚として朝廷の最高職である太政大臣になり、政治を行う権利を得た。 |
|--|---|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 代を重ねるごとに一人あたりの領地が細分化され、軍役の負担に見合う収入が得られなくなったため	分割相続は、代を経るごとに個々の御家人が持つ領地を零細化させました。これに加え、蒙古襲来（元寇）での軍役負担が重なったにもかかわらず、防衛戦であったために新たな領地が与えられなかったことが、御家人の困窮に拍車をかけました。これにより、後の時代には領地を分散させない「単独相続」へと変化していくことになります。
問2	答え 4 運慶らが、力強く写実的な彫刻である金剛力士像を制作した。	鎌倉時代は武士が政治の表舞台に立った時代であり、文化においても武士の好みを反映した力強く、人間味あふれる写実的な表現が好まれました。東大寺南大門の金剛力士像は、運慶や快慶らによってその特徴が最大限に発揮された代表作です。鑑真は奈良時代、白河上皇は平安時代、足利義満は室町時代の人物であり、時代の特色が異なります。
問3	答え 1 兄の源頼朝と対立し、東北地方の奥州藤原氏のもとへ逃れたが、最終的に自害に追い込まれた。	壇ノ浦の戦いで平氏を滅ぼした源義経でしたが、兄である源頼朝の許可なく朝廷から官位を受けたことなどから頼朝の怒りを買い、兄弟の関係は悪化しました。頼朝から追われる身となった義経は、かつて少年時代を過ごした東北地方（平泉）の奥州藤原氏を頼りました。しかし、頼朝の圧力を受けた藤原泰衡に攻められ、非業の死を遂げることとなりました。
問4	答え 3 奉公	将軍と御家人の主従関係は、双方向の権利と義務で成り立っていました。将軍から受ける恩恵を「御恩」と呼ぶのに対し、御家人が将軍のために尽くす行為を「奉公」と呼びます。この関係において、御家人は戦時に軍勢を率いて参戦する軍役や、平時に京都や鎌倉を警備する番役などの義務を負いました。
問5	答え 4 守護は国ごとに置かれて主に軍事や警察の任務を担い、地頭は荘園や公領ごとに置かれて年貢の徴収や土地の管理を担った。	守護と地頭は、それぞれ設置された単位と役割が異なります。守護は行政単位である「国」と共に原則1名ずつ置かれ、国内の武士（御家人）を統率して、謀反人の逮捕や大番役の催促といった軍事・警察的な仕事を行いました。一方、地頭はより細かな単位である「荘園」や「公領（国衙領）」ごとに置かれ、年貢の取り立てや土地の管理という実務的な権利（地頭職）を行使しました。この重層的な支配構造を理解することが、鎌倉時代の制度を把握する上で重要です。
問6	答え 3 御恩と奉公	将軍と御家人の関係は、土地を媒介とした互恵的な主従関係でした。将軍が御家人に与える利益を「御恩」、御家人が将軍に対して果たす義務を「奉公」と呼びます。この双方向の関係が鎌倉幕府の軍事的・政治的な基盤となりました。
問7	答え 4 分割相続	鎌倉時代初期から中期にかけて行われたこの制度は、親の所領を複数の子に分け与えるものでした。しかし、世代を重ねるごとに一人あたりの所領が細分化されて減少していくため、御家人が困窮する大きな要因となりました。のちに、領地の分散を防ぐために一人の子が全てを継ぐ単独相続へと変化していきます。
問8	答え 2 金貸し業者がお金を貸さなくなり、御家人はかえって資金繰りに苦しむようになった。	徳政令（永仁の徳政令）によって借金が帳消しにされたことで、貸し手である金融業者は損害を恐れて御家人にお金を貸さなくなりました。その結果、一時的に借金は消えても新たな資金調達ができなくなり、御家人の困窮はさらに深まり、幕府への不満が高まる原因となりました。
問9	答え 1 フビライ=ハン	モンゴル帝国の創始者であるチンギス=ハンの孫にあたります。中国全土を支配し、国号を元と定めて帝国を拡大させました。日本に対しても服属を求める使節を送りましたが、鎌倉幕府がこれを拒否したため、二度にわたる蒙古襲来（元寇）を指揮することとなりました。
問10	答え 1 武士が政治の実権を握り、彼らの力強さや素朴さを好む気風が反映されたため	鎌倉文化は、新興勢力である武士の気風や、新仏教の普及による民衆のエネルギーを反映しています。そのため、平安時代の貴族的な「繊細・優美」なスタイルとは異なり、現実をありのままに捉えようとする「写実的」な表現や「力強さ」が重視されました。運慶らの彫刻は、その精神を象徴する代表的な事例です。
問11	答え 4 北条氏が代々受け継ぎ、将軍に代わって幕府の政治を主導した実務上の最高責任者	執権はもともと政所（まんどころ）の長官を指す言葉でしたが、北条時政が就任して以降、幕府の政務全般を統括する重要なポストとなりました。源氏の将軍が途絶えた後も、北条氏は皇族や公卿を将軍として迎えつつ、自らは執権として実権を維持し続けました。
問12	答え 1 土地の管理や警察権の行使に加え、軍費として兵糧米を徴収する権利が与えられていたため。	地頭は幕府の軍事力を背景に、現地で土地管理や年貢徴収を担うだけでなく、軍費としての「兵糧米」を徴収する権利（加徴米）を持つなど、経済的・軍事的な基盤が保証されていました。この強い権限を背景に、本来の領主である荘園領主に年貢を納めないなど、現地で支配を強めていくこととなりました。他の選択肢は、朝廷の官吏、貨幣経済の普及、律令制の説明であり、鎌倉時代の地頭の性質とは異なります。
問13	答え 1 武家政権の長として、全国の武士を統率し、軍事・警察権を行使する正統性を認められた。	征夷大将軍はもともと軍事指揮官の役職でしたが、頼朝がこれに任じられたことで、朝廷から「武士の頂点」として全国を統治する公的な認めを得ることになり、武家による政治体制が強化されました。